



おたより

2020年度 第1号

4月13日
桜の聖母短期大学
親と子のひろば



新年度のスタートラインに立ったままスタートが切れず、長い春休みになってしまいました。その後、皆さまいかがお過ごしでしょうか。不安と閉塞感に負けそうになりながら、腕の中で笑う子どもに励まされる毎日ではないでしょうか。

そんな状況を知る由もない庭のチューリップや水仙は日に日に膨らみ大きな花をつけ、青空には満開の桜が映え、ここに子どもたちと保護者の皆様、そして学生が居てくれたら、どんなに心弾む春だっただろうと思わずにはられません。



短大は、入学式は中止、開講は再度延期になり5月7日の予定です。親と子のひろばは、皆様の安全を守るため、開催の見通しは立たないままです。それでも、親と子のひろばはここにあります。いつでも皆様をお迎えできる準備を整え、「〇〇ちゃん、どうしているかな〜」と、心をつなぎ続けています。集うことは自粛しなければならない状況ですが、おたよりで子育ての苦勞や喜びを皆様と共有していきたいと思えます。子どもの成長にとって“今”は、今だけです。工夫しながら、この春を楽しみましょう！

みんなで作って食べたね



1月24日は、みんなで五平餅を作って食べました。(みんなでクッキングが出来た日常が、今では信じられませんね)

ご飯を炊いて、すりこ木でぺったんぺったんお餅つきをして、その感触を味わいました。

「ごはんが、おもちになった！」





Yちゃん（3歳1か月）も、小さな手のひらでお団子を作って棒につけていきます。この感触も、この時期に味わってもらいたいものの一つです。お隣では、Kくん（1歳）がご飯をモグモグ・・・静かにご飯のおいしさをかみしめています。



味噌だれには、本来クルミやゴマを入れるのですが、アレルギーがあるかどうかまだわからない年齢の子どもたちのため、安全面を考えて、今回クルミは入れませんでした。ゴマは食べなれている子が多いので、「ゴマ入り」と「ゴマ無し」を選べるようにしました。お一人お一人にお聞きしたところ、「まだゴマを食べさせたことがない」という10か月のお子さんのみ、「ゴマ無し」になりました。

管理栄養士の佐藤香菜子さんに教えてもらいながら、学生が実際にゴマだれを作り、皆さんに作り方を紹介しました。



甘い味噌が焼ける香ばしい香りとともに、「いただきま〜す！」

・・・しーん・・・

食べている時間は、急に静かになります。





おまけに「パリパリ煎餅」も作ってみました。残りご飯にごぼうのささがきやゴマ、青のり等を混ぜて、クッキングシートの上で薄く伸ばします。片面のシートを外して、電子レンジ（600W）で1～3分加熱します。加熱後に一旦取り出し、クッキングペーパーから外して裏返し、包丁で好みのお煎餅の大きさに切り分けます。

そして、もう一度電子レンジで1～2分加熱し、取り出します。この時点ではまだ柔らかいのですが、少し時間をおいて冷めてくると、パリパリのお煎餅になります。



外出できないとき、ご家庭で作って楽しんでみてはいかがでしょうか？



雨の日は、小麦粉粘土



今日は雨・・・そして寒い・・・。それでも、庭で遊びたい子どもたち！ ではでは、お部屋の中で、もっと楽しいことをしませんか？ こんな日のために、小麦粉を用意していました。いよいよ出番です。小麦粉に水を加えて、少しの油（手に付きにくくするため）と塩少々（腐敗を遅らせるため）を子どもたちの目の前で入れて、ワクワクした表情で混ぜていきます。小麦粉には食紅を混ぜても良いですね。

大人も楽しい！ この柔らかい感触は、癒されます。



小麦粉粘土と一緒に、滑り台！
Eくん（2歳）



学生Kさんの手作りおもちゃが大人気！



3月に卒業した学生Kさんが、卒業研究で手作りおもちゃ「ウォーターマット」を作り、親と子のひろばの子どもたちに遊ばせてくれました。布団圧縮袋を活用して、子どもたちが好きなものを入れ、水の動きを楽しむものです。上に乗ると、ヒンヤリして、きれいなおもちゃが動き出します。子どもたちにも保護者の方々にも大人気でした！



アンケートのご協力、ありがとうございました

昨年度の最後に、親と子のひろばのアンケートにお答えいただき、ありがとうございました。アンケート結果は、福祉こども専攻内で共有され、改善が検討されはじめました。皆様の声は、よりよい集いの場を実現するための貴重なご意見です。

これからも、お気づきの点がございましたら、お気軽にお声掛けください。

「一緒」に遊ぶことが楽しめる年齢に・・・

「一緒、イヤ！」「順番、イヤ！」・・・小さければ小さいほど世界が自分中心で回っていて欲しいという気持ちでしょう。小さな望みが大切にされ、小さな望みに応えようとしてくれる大人がいることで「自分は愛されている」と感じ、心が満たされます。

「見て！」「抱っこ！」子どもは、決して難しいことは望みません。今、すぐに出来ることばかりです。

(しかし、何故か忙しい時ばかり・・・!?)

大人との1対1の遊びに十分満足すると、次第に同年齢の子どもに興味に向いていきます。そして、同じイメージの世界を共有する楽しさを感じられるようになっていきます。

今年度も、春にこども園や幼稚園に入園予定の子どもたちが「一緒」に遊ぶ楽しさを感じ始めたようです。お友達の様子をチラチラ見ながら笑ったり、やりとりが生れてきました。



1年間のスライドショー



CMご覧になりましたか？



2月25日は、桜の聖母短期大学CM撮影にご協力いただき、ありがとうございました。3月中旬から下旬にかけて放映されましたが、皆さん、ご覧になりましたか？

撮影当日は、多くの撮影スタッフがあり、カメラや機材が入り、どうなることかと思いましたが、子どもたちはいたって平気！ 「滑り台滑りたい人～」という撮影のお誘いに応じて、モデルになってくれました。

この日が、2019年度、最後の最後の日でした。いつもの大好きな絵本をみる子どもたちの目がまんまるで、そのワクワクした表情が、今でも鮮明に目に浮かびます。

「またね」と、4月の再会を疑いませんでしたが、今、世界中が経験したことがない事態に直面しています。この状況下で、この子どもたちの命と生活を守るために、今私たちができることを一緒に考えていきましょう。



長～い春休みの留守番係りより報告

年末から、学生の自宅にお泊りさせてもらっていたメダカが、保育室に戻ってきました。以前よりも大きくなったように感じます。そしてなんと、お腹が膨れています！ 出産間近ですか～!? 子どもたちに見せてあげたいので、待っていてください・・・というわけにもいかず、連日卵が産まれ続けています（汗）

おなかにぶら下がっている卵、見えますか？



夏の収穫を期待して、畑にジャガイモを植えました。残念ながら、学生も子どもたちも広場に來れない中、一人農業です。

昨年秋に植えたエンドウ豆も冬を越し、ツルを伸ばしてきました。お互いが絡み合ってきたため、急いで支柱と網を張りました。私が悪戦苦闘していると、堺先生が声を掛けてくれて、この日は二人農業になりました。この庭は、強風をまともに受けるため、ベンチに固定して対策をとってくださいました。

親と子のひろばが再開されるまで、



一人農業頑張ります！！



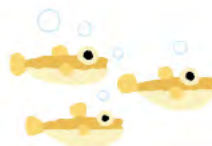
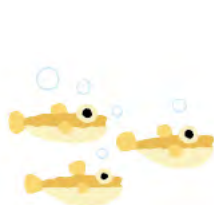
朝来ると、まず一杯の味噌汁を飲んでから遊び始めたZくん(2歳)。親と子のひろばの手作り味噌をととても気に入ってくれていました。

冬にみんなで仕込んだ味噌も、次第に色が変わり、熟成され、とても良い香りになってきましたよ。親と子のひろばが再開されるまで、大切に熟成させておきます。

皆さんで、新しい味噌を一緒に味わいましょうね！



今では毎朝メダカたちに「おはよう」と挨拶して餌をやり、味噌の壺を開けてカビが生えていないか点検し、猫が畑や砂場に糞をしていないか目を凝らし、畑のエンドウ豆に水をやり、ジャガイモが芽を出していないか観察し、そして、研究室に向かう・・・という私のルーティーンが出来つつあります・・・





一日も早く、新型コロナウイルスが収束し、あの日常が戻りますように。

それまでは、おたよりでつながっていきましょう。

文責 奥田美由紀



桜の聖母短期大学

🏠 福島市花園町 3-6

☎ 024-534-7137

(代表)

